

大夫千両堤

FI/FI



Ver.1(2020/2/1)

災害伝承 DATA

所在地：長野県上高井郡小布施町大字小布施
854-58（自治会名：千両）
緯度・経度：北緯 36 度 41 分 18.2 秒
東経 138 度 19 分 10.1 秒
伝承形式：土木構造物・工事
種類 / 要因：洪水・湛水 / 洪水・湛水
災害発生：不明
建立時期：1619 年～1624 年（元和年間）
指定等：史跡
周辺地形：扇状地

言い伝え・伝説



観光情報はこちら

小布施町と須城市の境を流れる松川は、かつて小布施扇状地を北西に乱流し、幾度も氾濫を起こしました。1619 年（元和 5 年）からこの地を治めた戦国武将福島正則によって建てられた千両堤の一部は現存し、町の史跡に指定されています。

周辺案内

小布施町は松川が氾濫を繰り返すことで扇状地として形成されました。松川を流れる水は酸性が強く、米を育てるには不向きなので住民たちは粟の栽培を始めました。「小布施粟」は現在でも町の特産として生産されています。また小布施町はリンゴやブドウなど様々な果樹の生産に適しており、果樹栽培が盛んな町です。